

学習習慣の定着と自ら学ぶ意欲を高める放課後学習会

湖南省	活動名：放課後学習教室	石部中学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
主な活動場所:教室 年間開催日数:55日(開催ペース:週・月5日) 平均参加人数:10人 ・学習形態： ☒ 個別の学力補充 ☐ 教材を使った一斉学習 ☐ その他() ・教室の持ち方： ☒ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☐ 長期休業日実施 ☐ その他() ・学習支援員等の属性: ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☒ 元教職員 ☐ 地域住民 ☐ 大学生 ☐ NPO 等関係者 ☒ その他		開始年度:平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数:1人(兼務1人) 学習支援員等 平均人数: 2人	

■ 活動の概要と目的

家庭で学習環境が整いにくい生徒が、落ち着いて学べる場を提供する。
提出物や課題に取り組む支援を行う。

■ 特徴的な学習支援内容

宿題や課題などへの取組を支援する。
学ぶ意欲を高めるための学習となるよう工夫する。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

学習内容を自分で決め、主体的に取り組む姿勢を大切にする。
対話を大切にし、学びあう学習会とする。

■ 事業の成果

落ち着いて学習ができるようになり、分からない問題にも粘り強く取り組めるようになった。

分からないところを積極的に質問できるようになってきた。
放課後学習教室を通して学びあい学習ができるようになってきた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学校行事などで、学習時間の確保が難しい。
学習支援員の確保が難しい。



【 学びあい学習 】

報告書記入者(教頭)

やる気をサポート！ ～生徒たちの未来づくり・夢づくり～

湖南省	活動名：放課後学習会	甲西中学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
主な活動場所:甲西中学校 第2理科室 年間開催日数:25 日(開催ペース:週1日) 平均参加人数:5～10人 ・学習形態： ☒ 個別の学力補充 ☐ 教材を使った一斉学習 ☐ その他() ・教室の持ち方： ☒ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☒ 長期休業日実施 ☐ その他() ・学習支援員等の属性: ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☐ 元教職員 ☒ 地域住民 ☒ 大学生 ☐ NPO 等関係者 ☐ その他		開始年度:平成 26 年度 地域学校協働活動推進員等数:3人(兼務3人) 学習支援員等 平均人数:4人	

■ 活動の概要と目的

本校の生徒の課題である自主的・主体的な学習習慣を定着させるため、全学年対象に放課後週1回1時間の学習会を実施している。また、長期休みに3年生対象に勉強会もしている。

■ 特徴的な学習支援内容

家庭ではなかなか学習に取り組みにくい生徒が自主的に参加したり、学習習慣がついていない生徒などに声をかけたりして学習会を行っている。支援員はそれを見守る。教育実習を経験した大学生などが分かる部分を教えることもしている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

昨年度から、生徒一人ひとりが宿題などのやらなければならない課題を明確化し、見通しを持って学習する力を育てるため、毎時のはじめに計画を立てる目標シートを書くようにしている。生徒の募集については、毎月各学級で当月の予定を掲示、学習面で気になる生徒に個別に声をかけることもある。学習支援員は、地域の方や本校で教育実習をした大学生に呼びかけている。

■ 事業の成果

平時は参加する生徒が固定化されているが、テスト前には人数が増える。目標シートを導入したことで、生徒が自覚的に学習に向かう姿が見られている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学力に課題やしんどさのある生徒や受験を控えた3年生がもっと参加できるように、個別に声をかけていく必要がある。



【 学習会のようす 】

報告書記入者(本校地域未来塾担当、教頭)

拓こう！ 挑もう！ 自分の夢・未来を ～地域での学び場づくり～

湖南省	活動名：らくらく未来塾	甲西北中学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
主な活動場所: 岩根まちづくりセンター・菩提寺まちづくりセンター 開始年度: 令和3年度 年間開催日数: 30日(開催ペース: 月2日) 地域学校協働活動推進員等数: 4人(兼務4人) 平均参加人数: 10人 学習支援員等 平均人数: 3人 ・学習形態: ☒ 個別の学力補充 ☐ 教材を使った一斉学習 ☐ その他() ・教室の持ち方: ☒ 平日放課後実施 ☒ 土曜日実施 ☒ 長期休業日実施 ☐ その他() ・学習支援員等の属性: ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☒ 元教職員 ☒ 地域住民 ☒ 大学生 ☐ NPO 等関係者 ☐ その他			

■ 活動の概要と目的

自分のペースで学習できる場の提供

■ 特徴的な学習支援内容

基本的には自主学習であるが、必要に応じて学習支援を行っている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

校内でのポスター掲示、チラシの配布、メール配信システムで開催のお知らせをしている。

事前申込み制にはしているが、当日の参加も可能とし、時間内であればいつ来てもいつ帰ってもいいようにしている。

■ 事業の成果

さまざまな理由で自宅では自主学習しづらい生徒が、落ち着いた雰囲気の中で集中して学習に取り組んでいる。生徒同士が教え合い学んでいる時もある。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学校に行きづらい生徒など支援が必要な生徒の学習や相談ができるようにしていきたい。



【 らくらく未来塾
みんな集中しています！ 】

報告書記入者(教頭)

日枝中地域未来塾 ～基礎学力定着を目指して～

湖南省	活動名：日枝中地域未来塾	日枝中学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
主な活動場所: 第2会議室 開始年度: 平成29年度 年間開催日数: 10日 地域学校協働活動推進員等数: 3人(兼務3人) 平均参加人数: 12人 学習支援員等 平均人数: 5人 ・学習形態: ☒ 個別の学力補充 ☐ 教材を使った一斉学習 ☐ その他() ・教室の持ち方: ☐ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☒ 長期休業日実施 ☐ その他() ・学習支援員等の属性: ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☒ 元教職員 ☐ 地域住民 ☒ 大学生 ☐ NPO 等関係者 ☐ その他			

■ 活動の概要と目的

基礎学力の定着と学校生活安定のために支援が必要な生徒に対して学習会を実施する。

■ 特徴的な学習支援内容

外国籍生徒に、母語や「やさしい日本語」で対応し、基礎学力定着と、生活面の不安を軽減し、安定を図る。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

基本は希望参加であるが、教育相談や三者懇談を通して、必要な生徒へ参加を勧める。

■ 事業の成果

なるべく個別の対応をとり、課題をはっきりさせ、苦手な部分に重点的に時間をかけるようにしたので基本事項の理解につながった。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学習支援員さんの安定的な確保。

■ その他

タブレットの翻訳機能も活用して取り組んでいる。



【 長期休業中の学習会 】

報告書記入者(学習支援員、教頭)